

春になったら

十二月のこと

柴田由紀子

「いろいろ話したいことがあるから、顧問である僕が総会で話をしようと思う」と安江先生からお電話を頂きました

それは、安江先生に会いに行きたいね！と話が出ていた頃。もはや以心伝心♡

春になったら会えます。

十年以上前、先生が移住されていた和歌山の山暮らしを訪ねたことがあります。

露の臺を摘みながら山を歩き、夕飯には天ぷらにしてくれました。

壁には遺言状が貼られ、遺影もすでに飾られていました。

いつ倒れても、誰が発見しても、大丈夫のように：

準備万端で自然を愛し、お酒を愛し、今を楽しむ先生は素敵でした。

それは今も変わらず「歳を取ると出来なくなることが多くなくなるけど、明日出来なくなることが今日は出来ているからね」だから今が大切なんだ」と電話で話して下さった先生のお話を春になったらお顔を見て聞けます。

みなさんと一緒に、安江先生を囲んでどんな話が飛び出すか楽しみです。

〔11月勉強会〕いのちを見つめて「死を語ろうⅢ」11月18日（土曜日）

話し合う前に3つの約束をしました

1. 指導や否定をしない
2. 相手の話は最後まで聞く
3. ここでの話は他では話さない

感想文より

★いろんな方のお話が聞けてためになりました。

自分だけがという思いも消えた気がします。

また参加したいです。

このような場を提供してくださり、ありがとうございました。

★ホスピスの歩み、入会のきっかけを教えていただき、視野が広がりました。

楽しかったです。

★今日は新しい若い方が来て下さって、これからこの会に入って活躍されることを祈っています。



★人と話す事の大切さを感じました。今の自分が心配に思っていることなど、他の人も経験があったりして気持ちが楽になりました。



★今日のテーマがいのちをみつめて「死を語ろう」でしたが生活の中の話や緩和ケア病棟や手ぬいの会のボランティアの話等、身近な話をさせて頂き会員の皆さんと交流ができ参加してよかったです。

★久しぶりに皆さんから身近なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。日ごろから感謝の言葉が自然にでてくるように心がけたいと思います。



★今日は多忙な中、計画してくださってありがとうございました。

自分も高齢、がんばって前進します。感謝。

★1卓4人でしたので、ゆっくりお話ができてよかったです。各人いろいろなお話が伺えて、心に止めて今後の生き方に少しでも合わせて行ければと思いました。都合のつく限り出席を今後もしたいです。ありがとうございました。

★自死した父親のことを初めて人前で話すことができました。心が軽くなって帰ることができました。

★いろいろなお話をさせて頂きました。このような場所があることをうれしく思います。続けていきたい勉強会ですね。

★介護の話を伺いながら、かなり気力も体力も使うことを感じ、これからは頑張ってる人には思っているだけではなく、「ありがとう」と言葉で伝えようと思いました。



★みなさんの経験談を聞いてとても参考になりました。家族や友達とも普段からもっと気軽にこういうお話ができたらいいなと思いました。私も枯れるように死んでいきたい。家族にも死は自然なものとして、そういう姿をみてもらいたいなと思いました。

★みなさんの経験をお聞きして、共感できることがたくさんあり実り多い会でした。時々はこんな自由な会を開いて頂きたいです。



★たくさんの経験の中から家族もまた自身の今後を決めることが出来たことを伺い家族でたくさん話したいと思いました。そしてまた自分のこれからの力を頂きました。





緩和ケア病棟のラウンジには折り紙やパッチワークの作品が飾られています。



おひな様



これは会員やその知人の手作りです。

それぞれ 20 部屋に飾り
クリスマスやひな祭りが終
わると御自宅にプレゼント

毎週金曜日の午後 2 時から、ピアノの優しい音色が
病棟に響き渡りますが、これらの作品も患者さんや
ご家族、職員の皆さんの目を楽しませ
心をなごませていると思います。

(伊藤彩子)



“つどい”の報告

患者・家族・遺族（誰もが遺族）の集まり
第 4 木曜日 10:00~12:00 社会福祉センター（第 2 活動 B 室）

春は「三つの階段」を経てやってきます。
まず、日ごとに昼間の時間が長くなり、だんだん日差しが強まってくる「光の春」。
次に、雪解けの小川のせせらぎや、ウグイスの鳴き声で感じる「音の春」。
そして、いよいよ春本番。実際に気温が高くなり、桜が咲く頃。桜前線とともに、本格的な春
がやってきます。

光から始まる春。明るく穏やかな日々を届けてくれますように。
“つどい”はいつも通り開催しています。参加お待ちしております。

(神尾弘美)

“手縫い”の報告

岡崎市民病院・国際病院・施設などへ依頼された品を作り届ける。
第2月曜日 10:00~12:00 場所 カトリック岡崎教会



長い間手縫いの代表を務めさせて頂きましたが、次年度より加藤典子さんに代表を受け継いでいただくことになりました。

これまで至らない私を支えて下さり本当にありがとうございました。人にも活動場所にも恵まれたのも、皆さまの働きかけがあつてのことと感謝しています。

私たちの作った枕カバーが始めの色が分からなくなるくらい長い間使っていただいたのを見せてもらった時、一枚でも多く新しいのを作って届けたいと思った事を覚えています。

これからも気持ち良く使ってもらえる物を作っていけたらと思います。

新しい代表さんにも、これまで通りご協力くださいますよう宜しくお願い致します。

(勝川俊子)

お知らせ アロママッサージ

今まで緩和ケアボランティアの人だけで、アロママッサージの練習をしていましたが、このたび会員の羽田小百合さんがアロママッサージを勉強し、会員誰もが誰かのために、下記の日時に勉強出来るようになりました。**タオルを2本とアロマ代金300円**をお持ちください。

場所；社会福祉センター 時間：10時～12時

4月10日(水) 第2活動室A

5月8日(水) 第2活動室B

6月12日(水) 第2活動室A

7月10日(水) 第2活動室B

アロママッサージへの思い

母を看取った時にアロママッサージに救われた経験から、たくさんの人に知ってもらいたいとの思いで勉強会をしています。

家族や大切な人が辛い時苦しい時、医療関係者じゃなくてもできることがあります。

特別なテクニックがなくても、アロマの力を借りてお互いに穏やかな幸せな時間を過ごすことができます。

アロマの基礎知識や参加者同士癒されながらの練習を通して、ご自分やご家族のケア、生活にも活かしていただければと思います。



(羽田小百合)

あとがき

11月、少人数で「死を語る」ことができ、幸せでしたね。

又勝川俊子さん、25年前からずっと手縫いをご一緒できたこと、幸せでした。愛知病院乳腺待合室の前室をオープンして希望する患者さんと一緒に雑巾を縫っていた頃「私にも誰かのためにすることが出来た」と喜んでくださった患者さんのことは忘れられません。私も12月に心臓の大きな手術を受け、死を受け留めました。4月6日の総会后、会の顧問・安江満悟先生のお話がとても待ち遠しいです。

(橋詰清子)

